

Main menu table with columns for dates (1st to 20th) and rows for meals (午前, 午後) and ingredients (材料名).

Main menu table with columns for dates (21st to 31st) and rows for meals (午前, 午後) and ingredients (材料名).

9か月頃は噛みたくする工夫を
食べ物の硬さや大きさは、子どもの発達に合わせて調節することが大切です。9か月頃には舌を動かして食べ物を歯茎に移動させてつぶすことができますが、唾液と混ぜ合わせることは、まだできません。魚、肉、葉物野菜等とはろみをつけて、のどごしをよくしてから食べさせましょう。
1歳を過ぎると自分で手づかみをして食べるようになります。手づかみしたくなるような形や色合いを工夫し、食事の意欲を引き出しましょう。さらに、いろいろな歯ごたえを経験できるように食材にも変化をつけます。よく噛んで味わうように「どんな音がするかな」と楽しく盛り上げることも大切です。
後期食の子供について、公立保育所では、午前・午後に各1回食事を提供します。食事の他に、適宜ミルクを飲みます。
離乳食は、子供の月齢や成長の様子に合わせて保育所で切り方や味付けを調節して作っています。
おかゆは、5倍がゆ(全がゆ)～軟飯を目安としています。
『パン(パン粥)』の日は、どちらかを提供します。
(☆)マークで表している献立名および内容は、各保育所からお知らせします。
*献立表は前月末に、西宮市のホームページに掲載しています。↓西宮市HP↓
*天候等により食材の一部が変更になる場合があります。
*給食に使用している食材の産地については、西宮市のホームページ「公立保育所給食食材の産地情報」で確認できます。

